

■-----

第 26 回 国際ミーティング・エキスポ (IME2016) の開催について

-----■

『IME2016』は学会・協会やコンベンションなどを計画するにあたって重要となるロケーション選定をはじめ、イベント運営に関する情報をご紹介する専門イベントです。全国のコンベンションビューローや会議施設の展示のほかに、以下のような講演やカンファレンスを予定しています。事前登録の上ご来場ください。

・基調講演 12月6日(火) 10:30 ~ 11:30

『インバウンド 2 千万人時代の観光立国のあり方』

株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン氏

・12月6日(火)16:30 ~ 17:30

『民間助成財団と助成について-助成金の獲得に向けた留意点など-』

公益財団法人助成財団センター事務局長/プログラム・ディレクター

渡辺元氏

・12月6日[火] 13:30~14:30 国際会議誘致/開催貢献賞 授賞式

・12月6日[火] 15:00~16:00 国際会議主催者セミナー2016

○『国際ミーティング・エキスポ IME2016』開催概要

公式 WEB サイト <http://expo.nikkeibp.co.jp/ime/>

会 期:2016年12月6日(火)10:00-19:00 / 7日(水)10:00-17:00

会 場:パシフィコ横浜 展示ホール A

主 催:日本政府観光局(JNTO)

一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)

■-----

第 17 回アジア学術会議フィリピン会合 国際シンポジウム 開催案内について

-----■

日本学術会議会員、連携会員及び協力学術研究団体各位

第 17 回アジア学術会議フィリピン会合 国際シンポジウム  
開催案内について

## アジア学術会議事務局長

吉野 博

### ■趣 旨

第 17 回アジア学術会議(SCA)スリランカ会合は、2017 年 6 月 14 日(水)から 6 月 16 日(金)まで、フィリピンのマニラで開催されます。

この中で、以下をテーマとした国際シンポジウムを開催します。

(テーマ)

Science, Technology, and Innovation for Inclusive Development

(サブテーマ)

- 1.Re-engineering Research (in the Humanities, Social Sciences, and Governance and Education) Towards Inclusive Growth
- 2.Eco-environmental studies and Ecological Engineering
- 3.Human Health and Biotechnology
- 4.One Health: Connecting Human, Animal, and Ecosystems Health
- 5.Gender Integration and Mainstreaming in S&T Innovations
- 6.Disaster Risk Reduction of Natural Disasters caused by Climate Change, Earthquake, and Tsunami

シンポジウム主催者であるフィリピン国家研究会議(NRCP)では、このテーマに即した科学的研究の成果について広く論文を募集致します。

公募した論文につきましては、審査の上、第 17 回アジア学術会議国際シンポジウムの機会に発表・議論の場を提供いたします。

### ■スケジュール

- 2017年1月16日：論文要旨(Abstract)提出期限
- 2017年2月20日：審査結果通知 (Notification of acceptance of Paper)
- 2017年3月15日：発表者登録期限 (Registration of Presenting Authors)
- 2016年4月15日：論文全文(Full Paper)提出期限

### ■第 17 回アジア学術会議スリランカ会合国際シンポジウム

日 程:2016年6月14日～6月16日

会 場:Philippine International Convention Center (マニラ、フィリピン)

主 催:フィリピン国家研究会議 (National Research Council of the Philippines)

### ■第 17 回アジア学術会議フィリピン会合及び論文募集の詳細については以下をご覧ください。

・FIRST CIRCULAR(日本学術会議事務局HP内掲載)

<http://www.scj.go.jp/ja/int/sca/index.html>

[http://www.scj.go.jp/ja/int/sca/17th\\_1st\\_circular.pdf](http://www.scj.go.jp/ja/int/sca/17th_1st_circular.pdf)

・フィリピン国家研究会議 (National Research Council of the Philippines)

<http://www.nrcp.dost.gov.ph/>

・第 17 回アジア学術会議専用サイト

<http://sca2017manila.ph/>

---

「知の航海」シリーズ新刊『紛争・対立・暴力』の紹介

---

日本学術会議は、中学生や高校生にも理解できる形で、学術の最新の成果を紹介、あるいは現代世界が直面している難問を理解する手がかりを提供し、若い世代の読者に学術への関心をもってもらうために、岩波ジュニア新書と提携して「知の航海」シリーズを刊行しています(既刊 10 点)。このたび、西崎文子・竹内進一編著『紛争・対立・暴力』が新たに刊行されました。

本書のとびらには次のようにあります。

「いま世界各地では、民族や宗教、経済格差などに起因する紛争や対立、暴力が深刻になっています。これらの問題をどう考え、どのように向き合っていけばよいのでしょうか。本書では、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジアなど各地域を専門とする研究者たちが、対立の背景をわかりやすく解説し、今後の課題を展望します。」

本書は、2015 年 10 月に日本学術会議が主催したシンポジウム「亀裂の走る世界の中で—地域研究からの問い」をもとにして生まれました。多くの方に読んでいただきたく思います。

日本学術会議 広報委員会

※本書については、日本学術会議 HP の以下の URL でも紹介をしております。

<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/koho/pdf23/chinokoukai161101.pdf>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scjinfo です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

[http://twitter.com/scj\\_info](http://twitter.com/scj_info)

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

[http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/doukou\\_new.html](http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/doukou_new.html)

\*\*\*\*\*

---

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読み

いただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

---

発行: 日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34